

# ゴトゴトシネマ通信

vol. 7

発行：2018年3月31日

## ●今回の上映作品について

### 「YARN(ヤーン) 人生を彩る糸」

本日は「YARN 人生を彩る糸」高知上映会にご参加いただきありがとうございます。映画を見ていただくよくなるのですが、登場するアーティストの皆さん編みまくりです。いつでもどこでも何かをしながらでも編んでいます。日本ではあまりこういう光景を見たことがないのですが、アメリカで一度見たことを思い出しました。ゴトゴト前田はブルースミュージックが好きでして、まあ日本からも本場デルタブルースを聞きにミシシッピあたりに行く人がたまたまおられるのですが、私も20年くらい前にそんな旅をした一人なのです。

行先はミシシッピ州、それと隣のアーカンソン州へレナで開催される「キングビズケット・ブルース・フェスティバル」。たしか3日か4日間、朝から晩まで、ブルースに漬かりっぱなしのナムズのようなライブイベントで。全米からメジャーどころやマニアックどころや、ダイヤモンドの原石かえ、ちゅうようなぶつ飛んだニューフェイスが集結する。まあブルース好きにはパラダイスのようなお祭りなのです。

ホテルはアイク・ターナーやロバート・ナイトホークや、サニーボーイの定宿として知られるリバーサイドホテル。ジャニスが敬愛したベッシー・スミスの終焉の地でもあります(昔は病院だったのです)。そんなブルース感万点なホテルで、オーナーや従業員や下宿しているブラザーたちと夜な夜なブルージーな話で盛り上がり、早朝にミシシッピ川を渡ってフェスティバルに通い続けました。

ほんでもって気合を入れて早起きし



キング・ビズケット・ブルース FES の模様。解放感あふれるメインステージ。

て行った初日、ステージ真前の席をゲット(というか野外なので、ビーチチェアをみんなが持参)したのですが、そこで出会ったのがナイスなアメリカンカッパルだったのです。もう全然名前も覚えてないのですが、まさに日本のテレビでよく紹介されているような典型的なアメリカンな人たちで、ちよっと太って陽気で外交的。そんなに若くないのに仲睦まじく、いやあブラブだねって感じで、ウエルメイドなホームドラマを見ているかのような気分になったことを覚えております。

それですね、この奥さんが、出会った時からずーっと編み編みしてまして、ライブ中も音楽聞いてノリながら、ずっと編み編み。ステージ最前列のど真ん中の席ですよ。周りが盛り上がり過ぎてステージ前に殺到しても、キヤーとか言いながら座って編み編み。さすが自由の国は違うなと妙に感心してしまいました。また編み物のペースがリズムカルでブルースのシャッフルビートにも合っていて、まるで呼吸をしているような感じやな、と思って見ていたことを思い出しました。

今回「YARN」がきっかけで編み物好きな人たちの記事をいろいろ読んだのですが、「編み物はヨガに似ている」とか「集中するとZONEに入る」という話がよく出てきて、面白く感じています。本映画で一心に編み編みしているアーティストの皆さんを見ても分かりますし、ブルースフェスの奥さん今考えればまちがいがなくZONEに入っていましたね。本日はきつと編み物好きな皆様がお集りのことと思います。編み編みしながら観るのも楽しいかもですよ。ぜひ、リラックスしてお楽しみください。

## ●今後の上映作品について

### 「すばらしき映画音楽たち」

5月12日@メフィストフェレス

### 「世界でいちばん美しい村」アンコール上映会

5月13日10時@メフィストフェレス

5月12日13日は「すばらしき映画音楽たち」。ゴトゴトシネマにとって映画音楽はとっても重要で、素敵なシーンに最高の音楽が乗っかりググッと引き込まれる瞬間があると、もうそれだけでその映画はオツケイ! というくらいに思っています。本作品は「ロッキー」「E・T」「ジョーズ」「イン

## gotogoto cinema

上映詳細はチラシ、HP、FBにて



「すばらしき映画音楽たち」のワンシーン。

デー・ジョーンズ」「夕日のガンマン」「サイコ」などなど往年の名画の名シーンと名サウンドトラックが次々と登場し、映画好きの方にはたまらない一本。作曲者のプレッシャーと生みの苦しみも良く伝わる優れたドキュメンタリー作品です。皆さま奮ってご参加ください。

13日の朝10時からは今年の1月に上映してご好評をいただいた「世界でいちばん美しい村」のアンコール上映会を開催します。前回の上映では直前にインフルエンザにかかって来られなかった方や、満席が相次いで時間によっては入れない方がいらっしゃいましたので、企画させていただきました。

2015年の4月に起き、約九千人もの犠牲者を出したネパール大地震の震源の村を写真家の石川梵氏が訪問し、村の復興、家族や村人の助け合う姿を、傷を負った村人の心に寄り添いながら撮影した作品です。日本ほど高度に近代化していないネパールの人たちの生活に、人間本来のやさしさや幸福な姿を垣間見ることができ、味わい深い映画になっています。

前回の上映時には、高知からネパールの子どもたちの支援を続けているヒマラヤンオーガニックスさんの呼びかけで、使われなくなった文房具の回収を行わせていただきました。その文具を持ってこの3月、ヒマラヤンオーガニックスさんが現地の学校を訪問し、子どもたちに手渡しして回られています。贈呈の様子はゴトゴトシネマのフェイスブックでもシェアしておりますので、ぜひご覧ください。

またこの映画の続編を、現在石川監督が制作準備されています。「美しい村」の物語はまだ始まったばかり、同時代を生きるものとしてずっと見守っていきたくと考えています。皆さんもよろしくれば、ご一緒につなごうと行きますよ。まだの方、ぜひアンコール上映会にご参加ください!

「美しい村」主演のナムちゃん。

